

# 医学研究の参加者募集のお願い

日頃より、名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野の医学研究活動にご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

2007～2011年に岡崎市医師会公衆衛生センターのご協力のもと実施いたしました「日本多施設共同コホート研究（J-MICC Study）岡崎研究」の参加者の皆様と岡崎市医師会公衆衛生センター・はるさき健診センター関係者の皆様に、新たな研究へのご協力をお願いさせていただきます。

この度、「若年者における出生年別のピロリ菌感染率及び感染様式の解明とピロリ菌関連疾患の遺伝要因と環境要因の交互作用の検討」研究を実施いたします。研究へのご参加をお願いいたします。

今回は、ご本人様だけでなく、16歳以上であれば、お子様をはじめご家族の皆様にもご参加いただけます。ただし、お子様が20歳未満の場合は、親子での参加が必要になります。ご参加いただいた全ての方は、「**胃がんリスク検診、貧血の検査**」を無料で受けられます。

この機会に胃がんリスク検診と貧血の検査を受けてみませんか。

ぜひ、ご協力いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

次のページの【研究の説明】をお読みいただき、ご興味をお持ちいただけましたら、下記までご連絡ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<問い合わせ先> 受付時間：平日10時～17時まで  
名古屋市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学分野  
渡邊美貴（研究責任者）、中川弘子、細野覚代  
電話番号：052-853-8177 FAX番号：052-842-3830  
メール：ncuphlab@med.nagoya-cu.ac.jp  
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄1

# 【研究の説明】

日本では昔から多くの人が胃がんで亡くなっています。これは胃がんの主な原因であるピロリ菌の感染率が高かったからです。しかし、最近ではピロリ菌の感染率も下がっており、胃がんで亡くなる人も徐々に減っています。しかし、若い世代の感染率についてはあまり研究されていません。そこで、皆様にご協力いただき、若年者を含む幅広い世代のピロリ菌の感染率と感染様式を調べます。ぜひ、研究にご協力をいただきますようお願いいたします。お家族の皆様の参加も可能です。人数に制限はありません。

ご協力いただいた方は、「**胃がんリスク検診（ピロリ菌抗体価とペプシノゲン）と貧血（ヘモグロビン）の検査**」（通常3,000～5,000円程度）を無料で受けられます。

## 研究内容の紹介

- 1) ピロリ菌抗体価とペプシノゲンを測定し、出生年別の感染率について調べます。
- 2) 親子のピロリ菌感染の有無、子供時代の生活環境、生活習慣をもとに、感染様式について調べます。
- 3) 萎縮性胃炎や貧血などのピロリ菌関連疾患の発症と進行について、遺伝要因と環境要因の関連を調べます。

## お願いしたいこと

- ・ **研究説明会にご参加いただき**、研究参加の同意書にご記入いただきます。
- ・ 研究説明会で、調査にご協力ください。生活習慣に関する調査票にご記入いただきます。
- ・ 研究説明会で、ピロリ菌抗体価やペプシノゲン、ヘモグロビンなどを測定するための採血にご協力いただきます。合計で14mL採血します。

## 研究説明会の予定

- ◆ 会場：岡崎市医師会はるさき健診センター（岡崎市針崎町字春咲1-3）
- ◆ 日時： 日程表をご参照ください

研究説明、同意書・調査票の記入、採血などを行います。1時間30分程度で終了予定

# 医学研究に協力して、**胃癌リスク検診**と **貧血の検査**を受けてみませんか。



## 胃癌リスク検診とは

胃癌の主な原因と考えられているピロリ菌の感染と胃粘膜の萎縮の程度を判定できるペプシノゲンの結果を組合わせて、胃の健康度を評価する方法です。 胃癌を見つける検査ではありません。

ピロリ菌は、胃に住みつく細菌で、胃癌の主な原因と言われています。血液中のピロリ菌の抗体価を調べることでピロリ菌に感染しているかどうか調べることができます。

ピロリ菌は感染すると、胃を少しずつ攻撃し続けるので、胃炎などを発症します。炎症が続くと胃の粘膜が萎縮して薄くなっていきます。これが萎縮性胃炎です。主な症状は、胃痛や胃のもたれ、吐き気などです。この萎縮の度合いを調べることができるのがペプシノゲンです。胃の萎縮を見るには内視鏡検査が最も適していますが、ペプシノゲンは血液検査で簡単に調べることができます。

## 貧血の検査とは

血液が赤く見えるのは、このヘモグロビンという色素が含まれているからです。酸素を運ぶ働きがあります。ヘモグロビンが少なかった状態が貧血です。酸素を運搬する能力が低下しているので、倦怠感やめまいなどの症状が現れます。ヘモグロビンを調べることで、ご自身の貧血の状態を知ることができます。

## 採血のお願い

ピロリ菌抗体価やペプシノゲン、ヘモグロビンなどを測定するために、採血にご協力下さい。

検査項目によって、使用する採血管が異なるため、  
3本採血する必要があります。

合計で14m L 採血します。

